

<信頼される市立病院の運営>

令和3年度 病院事業予算（案）の概要

[収益的収支]

(単位:千円)

	令和2年度予算額	令和3年度予算額	前年度比
病院事業全体			
収益	36,531,780	35,260,389	△ 1,271,391
費用	35,213,013	36,244,906	1,031,893
純損益	1,318,767	△ 984,517	△ 2,303,284
川崎病院			
収益	22,907,575	22,713,246	△ 194,329
費用	21,607,218	22,456,824	849,606
純損益	1,300,357	256,422	△ 1,043,935
井田病院			
収益	11,603,579	10,509,427	△ 1,094,152
費用	11,823,344	12,069,767	246,423
純損益	△ 219,765	△ 1,560,340	△ 1,340,575
多摩病院			
収益	2,020,626	2,037,716	17,090
費用	1,782,451	1,718,315	△ 64,136
純損益	238,175	319,401	81,226

○主な増減の内訳

収益

(単位:千円)

	2年度予算額	3年度予算額	比較	主な増減理由
診療収益	26,375,257	25,224,767	△ 1,150,490	入院・外来収益の減
その他医業収益	3,229,734	3,152,770	△ 76,964	一般会計負担金等の減

診療収益の内訳(再掲)

(単位:千円)

	令和2年度予算額	令和3年度予算額	前年度比
川崎病院	17,560,220	17,253,029	△ 307,191
入院	12,741,078	12,881,213	140,135
外来	4,819,142	4,371,816	△ 447,326
井田病院	8,815,037	7,971,738	△ 843,299
入院	5,829,331	5,109,931	△ 719,400
外来	2,985,706	2,861,807	△ 123,899

費用

(単位:千円)

	2年度予算額	3年度予算額	比較	主な増減理由
給与費	16,568,364	17,145,604	577,240	給料・退職給付費等の増
材料費	6,818,546	7,454,942	636,396	薬品費等の増
減価償却費	2,824,267	2,743,141	△ 81,126	器械備品減価償却費等の減
資産減耗費	52,576	133,689	81,113	固定資産除却費の増

[資本的収支]

(単位:千円)

	令和2年度予算額	令和3年度予算額	前年度比
病院事業全体			
収入	4,336,248	6,872,946	2,536,698
支出	6,317,871	8,751,420	2,433,549
差引	△ 1,981,623	△ 1,878,474	103,149
川崎病院			
収入	2,973,227	4,608,333	1,635,106
支出	4,091,235	5,663,799	1,572,564
差引	△ 1,118,008	△ 1,055,466	62,542
井田病院			
収入	558,537	1,373,405	814,868
支出	1,092,952	1,853,795	760,843
差引	△ 534,415	△ 480,390	54,025
多摩病院			
収入	804,484	891,208	86,724
支出	1,133,684	1,233,826	100,142
差引	△ 329,200	△ 342,618	△ 13,418

※ 資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんします。

○主な増減の内訳

資本的収入

(単位:千円)

	2年度予算額	3年度予算額	比較	主な増減理由
企業債	2,379,000	4,588,000	2,209,000	病院事業債の増
補助金	4	275,319	275,315	国庫補助金の増

資本的支出

(単位:千円)

	2年度予算額	3年度予算額	比較	主な増減理由
病院整備事業費	228,753	1,826,502	1,597,749	資産購入費の増
医療器械整備費	1,413,021	2,251,321	838,300	医療器械整備費の増

[収支状況]

(単位:千円)

	令和2年度予算額	令和3年度予算額	前年度比
経常損益	748,443	△ 1,655,246	△ 2,403,689
純損益(再掲)	1,318,767	△ 984,517	△ 2,303,284
資金収支	357,363	△ 1,887,991	△ 2,245,354

[一般会計繰入金]

(単位:千円)

	令和2年度予算額	令和3年度予算額	前年度比
収益的収入	6,002,877	5,950,385	△ 52,492
資本的収入	1,957,242	2,009,625	52,383
計	7,960,119	7,960,010	△ 109

病院局

<予算額> 問合せ先:経営企画室 200-3855 内) 70520

44,996,326千円 (対前年度比: +8.3%)

<主な事業>

信頼される市立病院の運営

新型コロナウイルス感染症への対応

公立病院の責務として、神奈川モデルにおける役割（高度医療機関あるいは重点医療機関）を積極的に果たしていくため、必要な医療従事者や病床、資機材等を確保しながら、院内感染防止対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症患者の受入れに対応します。



医療の質の向上と体制の整備

63,156千円

- 川崎病院におけるリハビリ提供体制を強化し、リハビリの早期介入と充実を図り、入院患者のADL（日常生活動作能力）の維持・回復による円滑な在宅復帰を支援するとともに、地域包括ケアシステム推進の一翼を担います。
- 薬物療法の有効性・安全性の向上や、医師・看護師等のタスクシフティングを推進するため、川崎病院及び井田病院において病棟への薬剤師の配置を進めます。

経営健全化の推進

274,572千円

- 公立病院としての使命と役割を果たし、市民から信頼される安全で安心な医療サービスを継続的かつ安定的に提供していくため、公立病院改革プランに位置付ける中期経営計画を改定し、更なる医療の質の向上と経営の健全化に取り組みます。

川崎病院の運営

13,189,626千円

- 救急搬送患者（特に三次救急）の受入れや、小児・周産期医療等を継続的かつ安定的に提供するため、市の基幹病院として高度急性期医療を着実に担う体制を確保するとともに、今後の市内における人口増や高齢化の進展に伴う救急等医療需要の増加に対応します。

- 川崎病院医療機能再編整備を進めます。既存棟の地下1階に集中的に設置されているエネルギー設備を更新していくため、エネルギー棟・給水ポンプ棟の新築工事に着手します。（令和4年度完成予定）また、救急救命センター棟の新築・既存棟の改修は、令和4年度中の着工を目指し、実施設計を進めます。



配置図

- 高齢化により増加している認知症患者やその家族を医療の面から支援するため、認知症に関する医療体制の拡充や介護・生活相談体制の整備に取り組みます。専門医による認知症早期診断・治療開始とともに、総合病院としての強みを生かして、認知機能障害のある患者の心身をトータルにケアする診療機能の更なる強化を図ります。



神奈川県
「認知症の人と家族を支えるマーク」

井田病院の運営

5,911,762千円

- 南部地域の中核病院・地域がん診療連携拠点病院として、増大するがん等の成人疾患医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、緩和ケア医療などを提供します。また、地域包括ケア病棟の活用など回復期機能の充実や、地域医療機関との連携による機能分化の推進、在宅復帰・在宅療養支援の充実を図ります。



井田病院



大規模地震時医療活動訓練

- 令和元年東日本台風の被害状況を踏まえ、浸水想定区域外の高台に立地する水害に強い災害協力病院として、引き続き災害拠点病院と連携した災害訓練の実施や災害備蓄の確保など、災害医療機能の充実強化を図ります。

多摩病院の運営管理

893,413千円

- 学校法人聖マリアンナ医科大学を指定管理者として、小児医療を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療などを提供します。
- 災害拠点病院としての役割を担うとともに、地域医療支援病院として地域のかかりつけ医などと連携を進めることで、地域全体の医療供給体制の向上を図ります。
- 開院から10年以上を経過したことによる施設・設備の老朽化に対し、長寿命化に向けた維持補修を実施します。



多摩病院